

韓国環境部プレスリリース【2019-10-12 付け】

## 京畿道漣川郡及び江原道鉄原郡の民統線内の野生イノシシでアフリカ豚コレラウイルス検出

<http://www.me.go.kr/home/web/board/read.do?boardMasterId=1&boardId=1064055&menuId=286>

以下、機械翻訳などによる仮訳

### 【見出し】

京畿道漣川郡及び江原道鉄原郡の民統線内の野生イノシシでアフリカ豚コレラウイルス検出

### 【小見出し】

京畿道漣川郡の1個体、鉄原郡1個体など、計2個体から検出  
検出確認後、状況の伝播や発見地域に出入り統制

### 【本文】

環境部(長官チョ・ミョンレ)は10月12日、国内の野生イノシシでアフリカ豚コレラ(ASF)ウイルスが検出されたと発表した。

京畿道漣川郡旺澄面で発見された1個体と江原道鉄原郡苑南面で発見された4個体のうち3個体について国立環境科学院が分析した結果、それぞれ1個体、計2個体からASFウイルスが検出された。

今回、ASFウイルスが検出されたイノシシはすべて民統線内で軍人が発見して管轄の地方自治体に申告し、国立環境科学院に移送されて分析された。

漣川郡で発見された個体は軍人が10月11日午後13時45分頃、漣川郡旺澄面江西里河川の岸でよろめいた状態で発見・通報し、漣川郡や野生生物管理協会の関係者が出動・射殺し、試料を確保した。

江原道鉄原郡で発見された個体も軍人が10月11日午前7時30分頃、鉄原郡遠南面細岬里でへい死体1個体を発見後、師団の指示による追加搜索の過程で、3個体(最終の個体が発見された時間は午前10時55分)を新たに発見し、計4個体のへい死体が鉄原郡に申告されたが、1個体は白骨化が進んでいる状態で地雷地域に位置していたため3個体の試料のみ確保した。

環境部はASFウイルス検出が確認されたため直ちに検出結果を農林畜産食品部、国防部、漣川

郡、鉄原郡など関係機関に通報して、「野生のイノシシアフリカ豚コレラ標準行動指針(SOP)」による措置を要請した。

国防部には発見地点に対する軍兵力の接近を禁じて追加的なへい死体の搜索と発見時の速やかな申告を要求し、漣川郡と鉄原郡には発見地域を中心に管理地域を設定して、出入り統制と周辺地域の防疫に徹底を期すよう要請した。

環境部は SOP によって徹底した対応を行う計画や、今回検出された地域が、民統線内の地雷地域が混在した地域であることを考慮して国防部、自治体など関係機関と協議して現場の環境に合う遮断施設の設置と防疫対策をまとめる計画だ。

ソン・ヒョンゴン環境部自然環境政策室長(注:韓国では「室長」の肩書は次官補クラス)は「国内イノシシでウイルスが検出されたことによって ASF 対応に深刻な危機状況」とし、「追加的な拡散が発生しないよう関係機関とともに全力を尽くす」と明らかにした。

(以上)